

Windows8/8.1で署名なしドライバをインストールする方法／テストモードにする方法



Windows8/8.1で署名なしドライバをインストールする方法／テストモードにする方法

2013年10月22日: Windows8の起動時に毎回「スタートアップ設定」画面を表示できるようにする小技を追記紹介。

64bit 版Windows 8/8.1では、デジタル署名の無いドライバや特殊なアプリのインストール方法がWindows7(x64)の頃と大幅に違っているのでメモ書き。



▲クリックで拡大 [Handbrake](#) [ImgBurn](#) [DVDFab9](#) [AnyDVD HD](#) [VLC Media Player](#) [MPC-HC](#) [ReadDVDR](#)

「サウンドパティのINFにデジタル署名情報が含まれていません」
最終更新日:2013年10月22日(投稿:2012/09/06)このページはリンクフリーです
Windows8の「サウンドパティ」のINFにデジタル署名がなかったため、サウンドドライバ本体のデジタル署名だけでなくINFファイルにも署名が要求されるようになりました。
ドライバ署名強制の無効化だけではこのメッセージが出てインストール出来ない・・・なん
て場合の対処方法も書いてあります。

🔥 TOP >> [Windows8, 各種起動オプションと復旧関連](#)

Windows8、Windows8.1、およびそれらのEnterprise90日評価版、Windows To Go でUSBブートしたOSでも、同様の手順でドライバインストール可能な事を確認できました。

このページの要点

64bit版 Windows 8では「デジタル署名の無いドライバをインストール」する以外に「出所の怪しいツールをインストールする」場合でも、Windows8に変更を加える必要があるようです。変更を加えるのは以下3点。

1. **Windowsをテストモードに移行させる**
2. **「ドライバ署名の強制」を無効化する**
3. **Windows Smart Screen の設定を無効化する**

署名無しドライバをインストールする場合は上記3点、全部必要。

各項目の解説

- 署名無しドライバを動作させるには、テストモードにしておく必要がある。テストモードにしくなくても動作するものもあるが、その境界がわからない。各自が手持ちのツールで確認する必要あり。
- [ドライバ署名の強制の無効化]はPCを再起動すると効果が切れるので注意。
- Smart Screen の無効化はインストールする時だけ必要。インストール成功したら(セキュリティの問題もあるので)元に戻すのが好ましいかも。(でもなんかMicrosoftに蛮情報送ってる感じがするのでチョット怖い)

サイト内検索

 検索

Special Thanks (TOP15)

プログラミングとIT技術...
twitter
人気ブログランキング
B級ソーシャル...

ネットセキュリティブログ
はてなブックマーク
マグマ大使の道具箱
悪代官の伏魔殿掲示板

人気ブログランキング

カテゴリ(メニュー)

ソフトウェア
動画変換
Tips&小技
ウイルス・セキュリティ
Windows7
Windows8
Monacoin
デジカメ
地デジにしよう
その他
運営 & ニュース



更新履歴

Windowsの時計がずれる / 自動で正確に合わせる小技 (Windows 7/8.1編)
過去記事の追記・修正のお知らせ 2014
リンク紹介: 毎日のように産まれるAltcoinのローンチをチェックできるカレンダー3種
LUMIX G 20mm/F1.7 購入しました。
暗号通貨Walletの残高が正常に表示されなくなった時の対処方法

アイコンが化けたり、正常に表示されない時の対処方法

主要な暗号通貨の時価
総額や価格変動のメモ
(2013.12 - 2014.06)
【ニュース】FBI、ビットコ
イン18億円分売却へ

mp3, mp4, aac, ac3,
wavなどの音楽ファイル
を好きな形式に変換する
方法

注意点1

個人的にハマってしまったのが、「**ドライバ-署名の強制の無効化は、一度PCを再起動すると無効になってしまう**点。これに気が付かず「上手く行かない時はPC再起動が鉄則だぜえ～」と何度もPC再起動を繰り返しツボにハマっていました(^_ ^ ;
ただテストモードにただけでは「ドライバ-署名の強制」の無効化は出来ません。

注意点2

VMware上で確認した際、「Windows Smart Screen の設定を無効化」は不要だった。

PC環境によってはコレ不要かも。

その他Tips

ドライバ署名はあるけどWindows8未対応のドライバの場合は、インストーラーを互換モード指定すればインストール出来る場合があります。

例えば(現時点では)バッファローの無線LANのWindows7用のドライバは、「Windows7互換モード」にする事でWindows8にインストール可能です。

ASUSのマザーボードChipset・SATAドライバなどは([こちらを参照](#))OSチェックの無い
setup.exeを選択することでインストール可能です。

以下、署名無しドライバや特殊なアプリのインストール方法。
Administrator・一般ユーザーで操作方法は同じ。

手順1.テストモードへの移行

管理者権限でコマンドプロンプトを実行し
bcdedit /set TESTSIGNING ON
を実行する。

元に戻す方法

```
bcdedit /set TESTSIGNING OFF
```

手順2.「ドライバー署名の強制を無効」化

従来のような「PC起動時にF8キーを押して署名無効化」は出来なくなっています。
以下は、通常の手順

[チャーム]>[設定]>[PCの設定変更]
 >[全般]>[PCの起動をカスタマイズする]>[今すぐ再起動する]
 >[トラブルシューティング]>[詳細オプション]
 >[Windowsの**スタートアップ設定**]を開く



▲最終的に、このような画面になるので
右下の「再起動」をクリックしてPCを再起動させる

<http://www12.atwiki.jp/whitebrowser/> ブログテンプレート
<http://nononn.blog.so-net.ne.jp/2014-03-24> フリーソフト万歳
[feedly](#)
[Ubuntu freak](#) 気まぐれなブログ。
[ランキング参加方法](#)

Amazon



USB3.0/2.0対応
3.5インチ外付ハード
ディスク LaCie /2TB
([サイト内関連ページ](#))

リンク集

Tool & 使い方

基本的に無料ソフトフリーソフト	
フリーソフトの樹	気まぐれなブログ
フリーソフト万歳	TeraTerm便利な使い方
ペンギンの杜	XP/Vista/7の裏技
裏技フリーソフトの秘密基地	
裏技shop DD	Freeでフル活用
AnswerTaker	8倍速対応

PC情報

ネットセキュリティブログ
自作PCの道楽 PC World
ほふう PCまとめ Linux,Win,自宅サーバー

ネット情報

でじねこ.com
デュークの小部屋
システム管理者の悪戦苦闘

動画エンコード

ニコニコ動画研究所
録画人間の末路 めるま湯さん

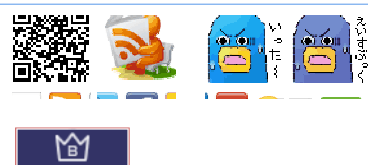
その他

他リンク集
プライバシーポリシー

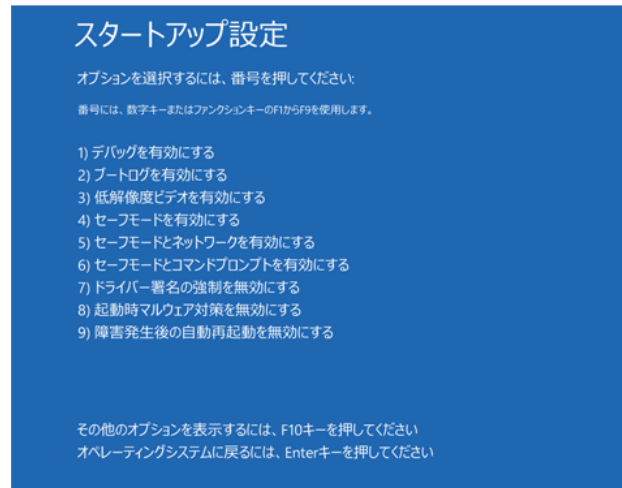
Monacoin広告 (詳細)



ブログパーツ



PCを再起動させると、再び似たような画面が出る。



▲この画面で「**7) ドライバー署名の強制を無効にする**」を選択する。

(つまりキーボードの[F7]を叩く)

これでデスクトップ上に「テストモード」の文字が表示され、署名なしのドライバもインストール出来るようになる。

元に戻す方法

PCを再起動すると元に戻る

小技1: Windows8の起動時に毎回「スタートアップ設定」画面を選択できるようにする

管理者権限でコマンドプロンプトを起動し

```
bcdedit /set {default}advancedoptions yes
```

または

```
bcdedit /set advancedoptions on
```

と入力する事で、Windows8を起動する際に毎回「スタートアップ設定」画面を呼び出せるようになります。

詳細は以下ページで解説しています。

[Windows8の起動時に、署名制限の無効化やセーフモードを選択できるようにする小技](#)

Windows8の起動時に毎回署名制限の無効化やセーフモードを選択できるようにする小技

小技2: 次回のWindows8起動時に1回だけ「スタートアップ設定」画面を選択できるようにする

「ファイルを指定して実行」から、

```
shutdown /r /o /t 0
```

と入力すると「起動オプションの選択画面」に直行出来ます。

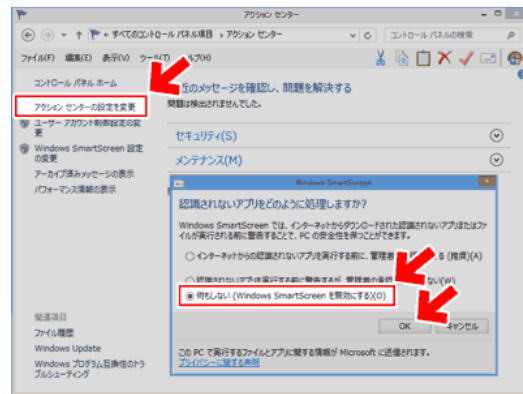
なかなか便利です。

参考URL:[【ハウツー】レッツ! Windows 8 - セーフモードを呼び出す四つの方法 \(3\) コマンドラインを利用する方法 | パソコン | マイナビニュース](#)

手順3. Windows Smart Screenの無効化

[コントロールパネル]>[アクションセンター]を開き、

[Windows Smart Screen 設定の変更]を開く

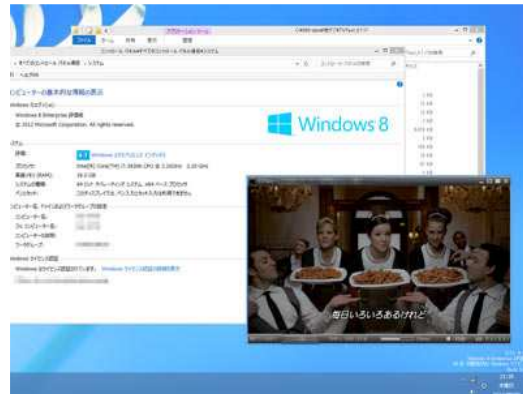


▲クリックで拡大
認識されないアプリをどのように処理しますか？の問いに
「何もしない」を選択して[OK]をクリックする

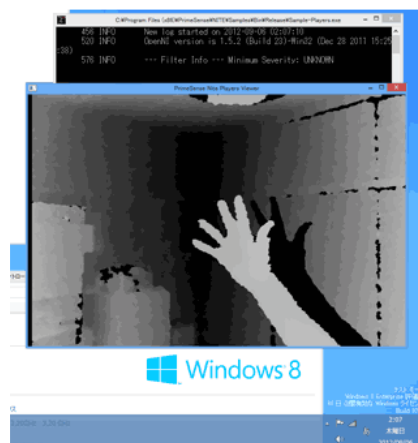
元に戻す方法

上記ダイアログボックスで「何もしない」以外を選択する。

成功画面



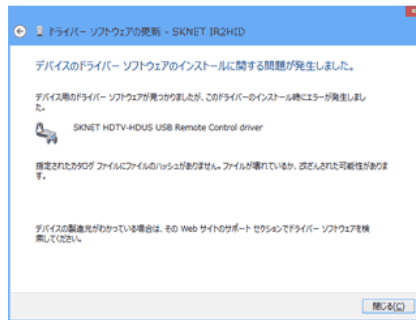
▲クリックで拡大
HDUS (BonDriver_nnb.dllを利用)+TVtestで地デジ視聴が可能に。
2009年頃の古い手法も大丈夫でした。



▲Kinect(x360版)+OpenNI+PrimeSense NITE で無事Kinectを認識&起動
こちらは最新のドライバを利用。

失敗画面1.署名強制を無効化していない場合

以下、昔懐かしいHDUSの改造ドライバを例に。

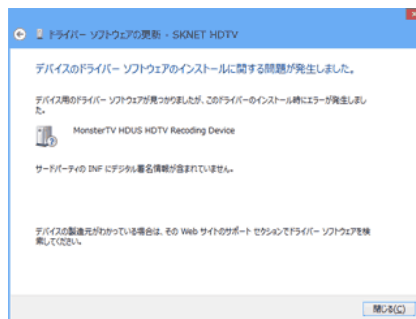


▲クリックで拡大

「指定されたカタログ ファイルにファイルのハッシュがありません。ファイルが壊れているか、改ざんされた可能性があります。」

Windows 8のドライバ署名強制を無効化しておかないと、このようなメッセージが出た。

失敗画面2. Smart Screenを無効化していない場合



▲クリックで拡大

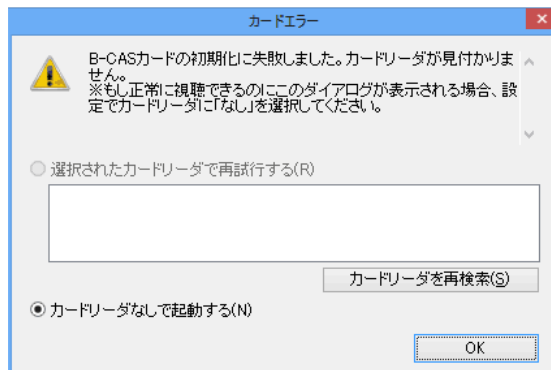
「サードパーティのINF にデジタル署名情報が含まれていません。」

Windows8からは、(64bit版の場合)INFファイルにもデジタル署名が必須となりました。ドライバ本体だけデジタル署名があっても、通常はインストールできません。

あと、Kinect 360の非公式ドライバのOpenNIとPrimeSense NITEは警告が出てインストーラーすら起動できない状態になってしまった(スクリーンショット失念)

HDUS+TVTestについて補足

BonDriver_nnb.dllを利用した場合、なぜか「カードの初期化に失敗しました」となる(x64 Windows7は同じバージョンのソフト・ドライバで正常作動する)



▲この様な状態となり最初は上手く作動しなかったが、HDUSを一度抜き差ししなおして再びTVTestを起動し、「カードリーダーなしで起動する」を選択すると無事作動した。

ドライバをインストールした後は、OSをテストモードにしておけばOK。
ドライバ署名強制の無効化なし・SmartScreen有効でも無事作動する。

※2013年8月追記:ドライバインストール後の運用について

ドライバのインストールに成功してしまえば、テストモードを解除しても作動するドライバの方が多い感じです。
Kinect 360の非公式ドライバはテストモードを解除しても作動します(通常運用が可能)。
HDUSDライバは、テストモード解除またはドライバ署名の無効化、どちらかを指定しなければ作動しない感じです
SmartScreenの無効化は、一部のドライバインストール時に必要な手順で、殆どの場合はインストール時・運用時ともに有効にしているで大丈夫な感じです。

過去参考にした情報

注) CP時代の古い情報です

836 : 名無し〜3.EXE:2012/03/03(土) 20:33:30.41 ID:sErNTm9t

Win8CPのx64版は標準状態だと
インストールするドライバ本体のデジタル署名だけでなく
INFファイルにも署名が要求されるようになった
(INFファイルの署名=.catファイル)
Vista/Win7やWin8DPのx64版は
INFファイルにデジタル署名がなくても
ドライバ本体にデジタル署名があればドライバをインストールできていたのでWin8CPでx64版のドライバに対するインストール条件が厳しくなった

837 : 名無し〜3.EXE:2012/03/03(土) 20:35:52.40 ID:sErNTm9t

ちなみにWin8CPのx86版はWin7までのx86版と同様に
署名なしドライバでも警告が出るだけで自己責任でインストール可能

▲転載元
windows7enterpriseスレ part3
<http://toro.2ch.net/test/read.cgi/win/1317652920/836-837>

25 名無しさん@編集者=sage=2012/03/01(木) 21:25:17.74 ID:Ix6uSjrh

>>18
Win8CPでもx86(32bit)版なら
Win7までと同じようにWinUSB1.9がインスコできてKTVでTVTest使えた
x64(64bit)版だと同じように
「INFファイルに署名がない」みたいなエラーメッセージが出て
WinUSB1.9がインスコできなかった
Win8でもCPの前のDPなら
x64版でもドライバ本体にデジタル署名があれば
INFファイルの署名(.catファイル)は必要なかった(Win7までと同じ)から
CPになってx64版でのドライバ制限がきつくなったということみたい
他のチューナーやデバイスでも
INFファイルの署名がない製品は多いから
この仕様のまま製品化されるとx64版でドライバに困ることが増えそう
F8起動も使えなくなったみたいだし

▲転載元
【KEIAN】KTV-FSUSB2/FSPCIE総合 43
<http://anago.2ch.net/test/read.cgi/smartphone/1330455512/25>

Windows8 CP版リリース直後はかなり絶望感漂っていましたが、なんとかかなりそうですね(^_^;

あと署名付きWinUSBだと、どういう挙動するかな。。。？

おまけ

[Windows 8のプリインストールマシンで他のOSがブートできない可能性\(スラッシュドット・ジャパン\) - エキサイトニュース](#)

Windows8は、想像以上にセキュリティがガチガチですな。
何も考えずにネットを閲覧しまくるにはかなり快適なOSになりそうですが、OSやハード構成をカスタマイズして遊ぶ人には苦勞の多いOSになりそうです。

コメント・トラックバックページ C[25] T[0]

誤字脱字を発見した場合、お気軽にご報告下さい。お礼にMonacoin差し上げます(Monacoinアドレスが必要です)。 [詳細ページ](#)

このブログを応援する・このブログに寄付する



[TOPページへ](#)

[全 上へ戻る](#)

[<<前の記事](#)

[次の記事>>](#)



